



Lend a Hand

手を貸そう

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

第 2560 地区ガバナー

- 原 信一
- 会 長 佐野 勝 栄
- 会長エレクト 渡 辺 喜 彦(クラブ奉仕 A)
- 副 会 長 小 越 憲 泰(クラブ奉仕 B)
- 幹 事 荻 根 沢 隆 雄
- S A A 杉 山 幸 英
- 会 計 渋 谷 正 一

- 例 会 日 毎週水曜日 12:30~
- 例会場及び 三条市旭町 2-5-10
- 事 務 局 三条信用金庫本店内
- 例 会 場 TEL 35-3311
- 事 務 局 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web: http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/

(~は shift を押しながら“へ” のキーを押してください)

本日の出席会員数	65名中54名
先々週出席率	82.26%

先週のメイクアップ

- 1/29 燕へ
加藤紋次郎さん 松谷昊吉さん
- 2/ 2 三条南へ
広岡豊作さん 細井増雄さん
石橋育於さん 加藤紋次郎さん
菊池 涉さん 松谷昊吉さん
小越憲泰さん 斎藤弘文さん
杉山幸英さん 渡辺喜彦さん
吉井俊介さん

会 長 挨 拶



佐野 勝 栄 会長

皆様こんにちは。
今月は世界理解月間であると同時に、2週目が家族週間です。
原ガバナーより世界理解月間に際してのお便りをいただきます

した。ロータリー財団、米山奨学への協力をお願いと会員増強についてですが、12月末現在で、2,264名で純増49名に上っており、達成目標は2,560名ですので残る後半さらなるご協力を頂きたいとの事です。

又、ロータリーの友(今月2月号)の世界理解月間の特集記事の概要がホーム・ページに載っていましたので若干ご紹介します。

P10-11「**矛盾から希望へ**」とあり、韓国の学生が日本へ留学する時に、日本人が嫌いな父親は「先入観を捨てろ。日本を語る時は、私から聞いてきた先入観は捨てて、自分が感じたまま語るんだよ」と娘にいいました。その言葉を胸に、日本にきた彼女が、母国・韓国と日本との関係について話していました。

次に、昨年秋の第7回日韓親善会議でのスピーチです。P12-13には「**異文化の人々ときずなを深める**」という記事があり、海外のロータリークラブと日本のロータリークラブはどの様に交流し、奉仕活動をしているのでしょうか。本誌では、世界理解月間にちなんで3クラブを紹介しています。

私の会長方針である今年度のテーマの一つに「友好クラブを創ろう!」を掲げましたが、今、現在台湾東ロータリークラブと折衝中ですが、いきなり姉妹クラブ締結まで行かず、互いにしばらくは理解、信頼ができるまで友好の範囲でお付き合いしましょう。まずは友達関係で行きましょう!と合意ができています。台湾東クラブは毎週月曜日の昼例会だそうです。来月の15,16,17日の3日間に私、幹事、渡辺会長エレクト、山田親睦委員長、中村社会奉仕委員長、会田会員の6名で表敬訪問する予定であります。又、18日の例会では現在台湾の台中南屯クラブと姉妹クラブを結んでいる新潟南ロータリークラブの長谷川時雄さんをお呼びして卓話をいただき、参考にしたいと思っています。

来週はロータリー家族週間ですが同じくロータリーの友でP34-35にロータリーの参加を親から子へ、子から孫へ受け継いでいった「ロータリー家族」もたくさん存在しています。今月号では、4代にわたってロータリーの奉仕を行ってきた米国ルイジアナ州のシーガス一家を紹介しています。

私共のクラブでも4代まで行かないまでも、3代続いている方もいらっしゃると思います。その様な方はロータリアンのお手本ですので、ぜひ我がクラブが生き生きとした魅力のあるクラブになる様、率先して指導力を発揮し、牽引していただきたいと思ひます。そうすれば、ロータリーに入会するなら、いの一番!三条クラブへと誰もが思うことでしょう。

簡単ですが終わります。

幹事報告

荻根沢 隆雄 幹事

◎ 地区青少年交換委員会より

2004~05 年度夏期交換学生募集要項が届いております

・交換先 ドイツ(1800~1820 地区)
・募集要項

資格 派遣時高校または大学在学中の者
(含予備校生、専門学校生)

派遣・受入期間(予定)

派遣学生は

2004年8月1日出発、

2004年8月22日帰国予定

受入れは2004年8月22日~

9月13日予定

費用 渡航にかかる費用 170,000円 他

・受付申込 2月末日までに申請書、在学証明書をクラブ経由で地区事務局へ

お願い

例会出席の際は、お車はテニスコート脇の駐車場にお停め下さい。本店駐車場は他のお客様でいっぱいになりますのでご協力よろしくお願い致します。

ニコニコBOX

佐野勝栄さん

本日卓話をさせていただきます 三条小学校
山田校長先生を歓迎して。

荻根沢隆雄さん

三条小学校校長山田様、本日は有難うございます。また、毛利衛さんの講演会への学童招待事業ではご協力いただき有難うございました。

渡辺喜彦さん

山田校長先生ようこそ。卓話御苦労様です。当社の車がいつも学校給食の配送でお世話になっております。

明田川賢一さん

山田校長先生、本日は有難うございます。いつも三条小学校の皆さんにはお世話になっております。

五十嵐昭一さん、石塚欣司さん、石月良典さん、
渋谷正一さん、杉山幸英さん、平原信行さん、
高橋 司さん、松谷昊吉さん、山田富義さん

三条小学校 山田校長先生のご来会を歓迎致します。卓話有難うございます。楽しみにしております。

小出子恵出さん

ご心配をおかけ致しました。金欠病で療養していましたが、室星さんの手配で美味しい蕎麦をいただき復帰することができました。本年も宜しくお願い致します。

成田秀雄さん

昨日、委員会メンバーの集まりがあり、生まれて初めてソバ打ちの体験をしました。

斎藤真澄さん

1月21日に国会本議を傍聴し、25~28日まで萩、津和野方面へ研修旅行に行き、勉強になりました。

1月28日分 ￥19,000

今年度累計 ￥688,000

卓話

三条市立 三条小学校
校長 山田 裕信 様

三条市立三条小学校の校長をしております山田裕信です。始めに私はこれまで障害児教育に携わっており、その関係から日頃よりロータリークラブさんには、大変お世話になっておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて本日は教育についてお話させてもらいますが、私は小学校の立場から日頃感じていることをお話したいと思います。今学校は大変な変化の時代を迎えています。学校も変わってきています。

最初に国の教育の大きな流れについて触れますと、「教育の構造改革」と言う資料を用意いたしました。タイトルは「画一と受身から自立と創造へ」となっており、昨年の5月文部科学省から出されたもので、今の学校に求められてきている新しい流れについて書かれています。

まず、一番目に「個性と能力の尊重」ですが、ここにありますように学校の現場では次々と改革の波が押し寄せてきており、この中では、初等中等教育段階として確かな学力の向上について示しています。「習熟度別指導、少人数授業、発展的・補充的な学習の充実」は皆さんが子供の頃は一教室50人とか60人の授業だったと思いますが、最近では学級を解体して10人とか5~6人とかの少人数で授業をする方向になってきました。次に「総合的な学習の時間」の創設とあります。これも皆さんの頃はなかったですね。

二番目の「社会性と国際性の涵養(かんよう)」ですが、そのひとつに「英語教育の充実」があります。これも重要になってきており、小学校といえども英語力の向上対策が求められています。

三番目の「選択と多様性の重視」ですが、「地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくり」の中に、「小・中学校選択の自由の拡大」があります。これは、学校も選ばれる時代になって行く、つまり、魅力ある学校でないと選ばれなくなってしまふ、そういう危機感を持っているところです。次に「新しいタイプの学校の設置促進」では、これも重要な要素があり、高等学校教育の多様化のひとつに、中高一貫教育の取り組みがあります。これは県内で既に柏崎、村上、阿賀の三箇所で行っています。三条・燕地区では平成17年度に設置を検討するとなっています。そうすると小学校を卒業した段階で、私どもの学区では三中か長岡か新潟の市立に行くのか、あるいは中高一貫校に行くのかなど、小学校を卒業する時点で、何処を選

ぶかと言う時代がもうじき来ると思います。現に柏崎や村上では、それぞれが競合しますので中学の先生が小学校を訪問して、PRをすると言う動きがあると聞いています。いま燕では文部科学省の指定を受けて研究が始められています。

四番目には、「公開と評価の推進」であります。項目には「学校評価と情報提供の推進」があり、学校がどのような取り組みをし、その結果年度末にはどうだったかなど自己点検・自己評価をして保護者や地域の方に説明し責任を果たすことや、「学校評議員の設置促進」などがあります。これらについては、最後のページに私どもの学校の「ブランドデザイン」がありますのでご覧いただきたいと思ひます。県内の各学校は全てこのようなブランドデザインを作成して、分かりやすい学校経営をすることになっております。

こうした新しい動きに対応して、学校もしくは校長は教職員とともに話し合っ進めており、例えば、当校では「すこやかできまりのよい子」を教育目標に、三本の柱として「基礎・基本の定着と問題解決力の育成」「豊かなかかわりの中で自立する心の育成」「健康な体力づくりへの強い構えの育成」を掲げ、それを纏(まと)めて「ふるさと・三条に生きる教育」を目指した学校経営をビジョンとしています。そして校長のビジョンとして、「どの子も輝く活力ある学校づくり」を掲げてあり、これを保護者に提出して説明申し上げております。更に、保護者アンケートを実施し、常に自分たちのやり方を見直し、改善するよう努力しております。

また、皆さんもお聞きになったことがあると思う「二学期制」についてですが、現在日本全体では小学校519校、中学校では310校が二学期制など学期区分を工夫して取り組んでおります。県内では新潟市、長岡市、柏崎市などが導入しています。なぜそのようになって来ているかと言いますと、二学期制は10月の体育の日が三連休となっており、その前後で学期を変えるものであります。この制度の利点は、現在週休二日制であり、授業時間が大幅に少なくなっている中、これまでの三学期制ではその度に終業・始業などの時間にとられまふ。これが二学期制では約30~50時間ほど授業に回せる効果があります。また、計画的に夏休みも勉強ができる利点もありますが、逆に勉強のリズムがどうなるかなど心配の面もございます。

従ってこの制度を早急に取り入れれば良いかどうか、検討の必要があります。三条の校長会でも現在研究しているところであります。

その他いろいろな問題点が教育の中にあります。いじめや不登校もありますが、今日は特に学力向

上について触れてみたいと思います。学力向上と言うより学力低下のについてですが、小学校6年生では学習指導要領の実数が13年度までは年間1,015時間でしたが、現在は945時間となっています。内訳では国語が35時間、算数が25時間、その他社会、理科など減ってきており低下について心配されます。その代り総合学習の時間が105時間あり、そこで力をつけることができます。そんなこともあり学力について、全国的な問題となっているのかなと感じています。

「教育を取り巻く課題」では子供の状況について触れており、「学力」面では、基礎学力の平均は国際的に高いレベルだが、学ぶ意欲に課題があると言われていています。分析すると、総合読解力などは一位、二位グループに入っていますが、宿題や自分で勉強する時間については、27カ国中最下位になっています。つまり勉強しなくなっている、別の見方として、努力しなくなっているとも言えます。「生活」の面を見ても、体力も落ちていますが、意識として、自己イメージが否定的で、社会への貢献などに低い目的意識となっています。「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」と意識している子供は、8.8%しかなく、米国の51.8%、中国の49.3%と大きくかけ離れています。全然違うわけですね。「社会のために役立つ生き方をすることが非常に重要」でも米国、中国より低い。このようなことが子供達の実態にあると言うことです。

いろんな問題がありますが、学ぶ意欲とか学ぶ習慣が弱くなってきている現状をどのように進めて行くか、三条市も学力向上プロジェクトを作り、取り組んでいます。三条小学校では、学力向上フロンティアスクールとして11月20日に研修会を開催しました。南蒲・三条地区には、46の小学校19の中学校があり、三条小学校ともう一校がフロンティアスクールとして取り組んでいます。

しかし、学力と言っても漢字と計算が出来ればそれで良い訳ではありません。21世紀の変化する時代を生きる力の「知」の側面として、知識の他にも表現力や学ぶ意欲、問題解決力、課題発見力なども含んだものと捉えています。

このように現在の学校を取り巻く状況は大変厳しいものがあります。変化をどう捉え進めていくか課題も大きいと認識しております。その中で変らないもの、変ってはいけないものがあると思います。例えば「教師や親の愛または地域の愛」だと考えます。これは学習への意欲やこの勉強をなぜしなくてはいけないのか、また、この勉強は自分の一生にどうかかわるのかなど、基本的な考えを導いていくのが愛であると思います。学校とか勉強を支えることが大切であり、教師として子供への愛が必要だと思っています。

二つ目に「親の愛」についてですが、例えば食生活に問題のある子供は学力が低いとか、毎朝しっかり食べる子供の得点は高いとかは実際にある話です。先日の岸和田の事件を聞くと、あんな事があるのかなと驚いてしまいます。親が子供を大事に育てることは基本であります。十分に愛情を受けないで育った子供に「愛情を持って・・・とか言っても虚しいものに聞こえる」と思います。赤ちゃんは母親が側にいると体温が高くなり、離れると低くなると聞いています。つまり赤ちゃんでも反応していると言う事です。親が子供を大切にすることが大事であると思います。

三番目の「地域の愛」ですが、私どもの学校はPTAの方々が大変頑張ってくださり、ふるさと三条教育として三条祭りとか凧揚げとか地域の文化などを活用した活動が沢山あります。とても大事なことと思っています。

「この町が好きだ、貴方が好きだ」があって自分も好きだとなると思います。新しい変化ばかりに走るのではなく、地域の文化、生活の基盤を大事にすることも、教育の大切な基本であると考えています。

最後になりましたが、料理の先生が「ご飯を炊くには時間がかかります。水が熱になり、熱が伝わり、ご飯が出来る」とおっしゃいましたが、子供に対しても同様なことが言えると思います。そんなことから、皆様の従業員がPTAや学校行事がある時は、是非ご理解とご協力を願えれば有り難いと思います。

ご清聴誠にありがとうございました。

次週 例会 2月18日(水) 卓 話
新潟南ロータリークラブ
長谷川 時雄 様

次々週例会 2月25日(水) 新春親睦例会
PM6:30~ 於:松木屋

